

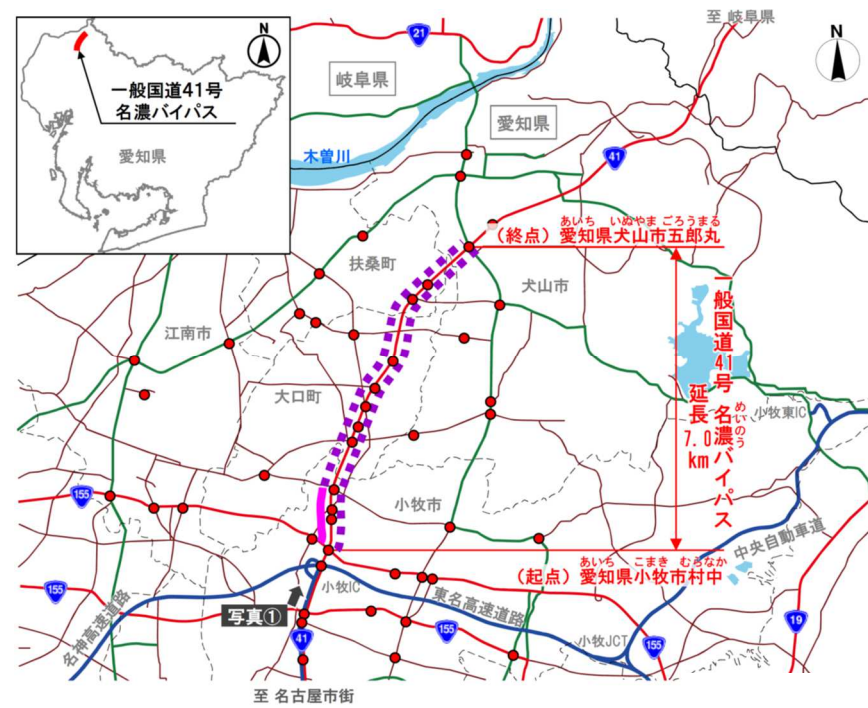
2 計画地における位置づけの整理（修正資料）

(1) 国道41号

- ・国道41号名濃バイパス6車線化事業を実施中。
 - ・計画地付近の交通量は37,535台/日と多く、大型車混入率（交通量に対する大型車の割合）は高い。
 - ・尾張北部エリアの国道沿線は、休憩施設がなく、特に大型車の駐車施設は少ない。
- ⇒国道41号における休憩施設空白地帯の解消が求められる。

■国道41号において進行中の事業

現在、国道41号では愛知県小牧市村中から計画地近辺の本市五郎丸交差点までの区間、延長7.0kmを対象とし6車線化事業が行われている。



事業区間位置図

出典：中部地方整備局愛知国道事務所

課題・効果

■道路交通上の課題

国道41号の交通渋滞

- 小牧市村中から犬山市五郎丸間の国道41号では、信号交差点の連坦(13箇所)、高速道路IC(名神小牧IC名古屋高速小牧北出入口)へのアクセス交通の集中から、慢性的に渋滞が発生しています。
- 小牧市村中から犬山市五郎丸の間は全線が主要渋滞箇所(区間)に位置づけられています。

物資輸送の速達性

- 国道41号沿線には、交通の利便性を活かし、国内有数の製造業・運送会社等の大規模事業所が多数立地しています。
- 国道41号は、名神小牧ICへのアクセス交通(大型車)が多く、通勤交通と絡み合うなど交通容量不足による渋滞が慢性的に発生し、企業活動に支障が出ています。

■整備効果

国道41号の交通渋滞の緩和

6車線化に伴い、交通容量が拡大することで、旅行速度が向上することが予測され渋滞が緩和します。

ピーク時の旅行速度向上

	現状	整備後
上り線	21km/h	31km/h
下り線	27km/h	33km/h

物資輸送の速達性向上

小牧ICへのアクセス時間が短縮し、速達性が向上します。

旅行速度の向上に伴い、名神小牧ICへの15分圏域が拡大

五郎丸⇒小牧	29分	16分
小牧IC15分圏内事業所数	3,700事業所	4,300事業所

国道41号の課題と6車線化事業の整備効果

出典：中部地方整備局愛知国道事務所

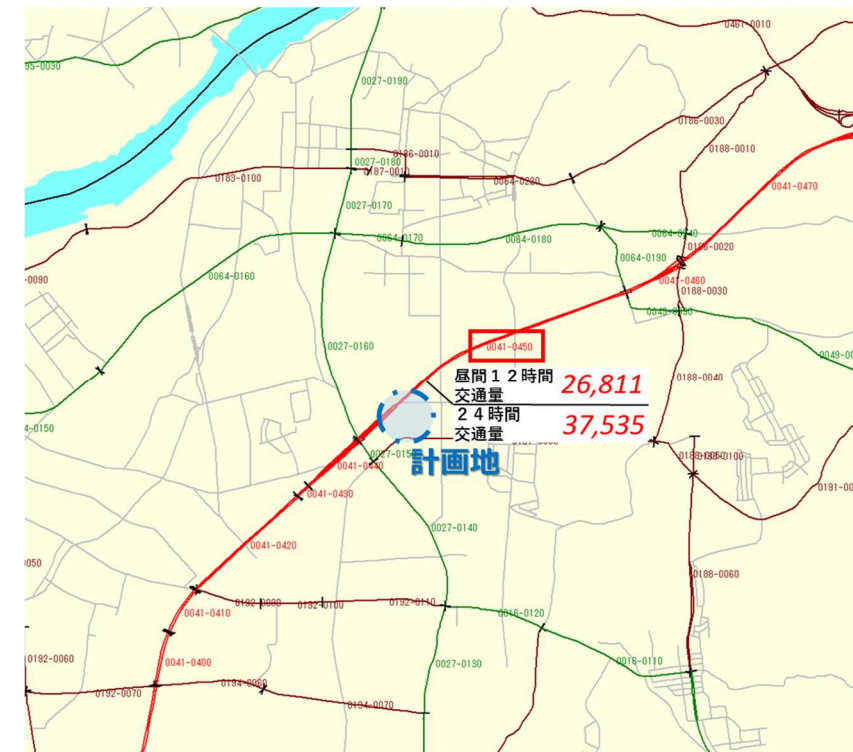
■国道41号の交通量

国道41号の計画地付近の現況交通量は37,535台/日であり、交通量が多い。また、大型車混入率は17.1%と高く、物流の幹線道路となっていることが分かる。計画地付近の平成17年から27年までの国道41号の交通量は次のとおりである。小型車、大型車ともに交通量は減少しており、大型車混入率及び混雑度も減少している。

国道41号の交通量推移

調査年度	観測地点	昼間12時間自動車類交通量			24時間自動車類交通量			昼夜率	昼間2時間ピーク比率	昼間2時間大型車混入率	混雑度
		(上下合計)			(上下合計)						
		小型車	大型車	合計	小型車	大型車	合計				
平成17年	犬山市橋爪東六丁目	23,305	6,022	29,327	34,151	8,302	42,453	1.45	—	19.6	1.06
平成22年	犬山市橋爪東	22,511	5,411	27,922	31,896	7,270	39,166	1.40	11.1	19.4	1.11
平成27年	丹羽郡大口町河北大字神明下	22,226	4,585	26,811	31,181	6,354	37,535	1.40	11.0	17.1	0.98

出典：交通センサス（平成17年、平成22年、平成27年）※平成27年は推計値



周辺の交通量（平成27年交通センサス）

また、名濃バイパス6車線化事業完了後の計画交通量は1日当たり54,300台となっている。